

小学校英語

授業アイデア例

小学校段階の「話すこと」の言語活動においても、正確性につながる指導をしましょう。

小学校段階では、音声での十分な慣れ親しみを前提として、「書くこと」の言語活動に取り組みましょう。

【単元例】小学校 第6学年 Unit4
Summer Vacations in the World (東京書籍)
My Summer Vacation (光村図書)
My summer vacation was great. (啓林館)

① Small Talk を通して、既習表現を繰り返し使用できるようにして、その定着を図る。

② 映像資料を視聴し、登場する人たちが夏休みにどこへ行き、何をしたかを理解する。

③ マッチング・ゲームで場所や食べ物・動作を表す語句や感想を表す表現に慣れ親しむ。

④ 夏休みに行った場所とそこでしたこと、その感想についてペアで話す。
ペアを替えて、複数回対話をする。

⑤ 音声を聞いて繰り返し読んだ後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。

もっと詳しく知りたい人はこちら！

○ 「報告書」P.88～P.89 に、中学校における「発話の正確性を高めるための指導」の具体例が示されています。



○ 「報告書」P.74 コラム⑥【小学校外国語科での学習を踏まえて中学校初期の「書くこと」を指導する】に中学校 1 年生の指導の在り方について示されています。

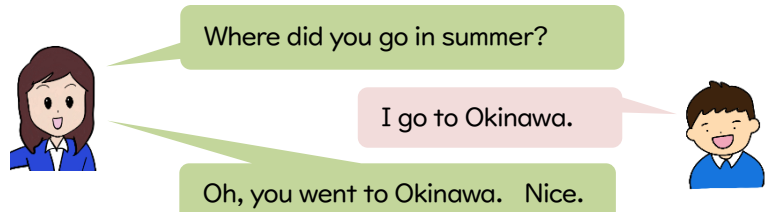
○ 文部科学省/mextchannel にも音声での十分な慣れ親しみを前提として、「書くこと」に取り組む授業動画があります。

【授業】5 年生 外国語科
「マリアさんに伝えよう、日本の良さを」(第 4 時間目/8 時間)

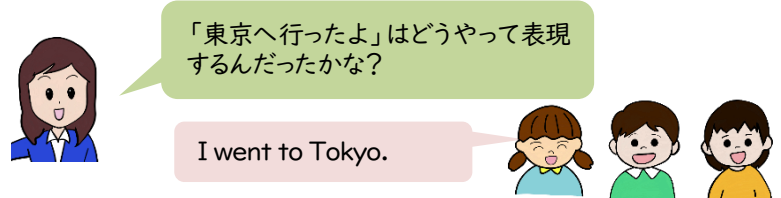


Point 3 「話すこと」の言語活動においても、**中学校でより正確に表現する力を高める**ことができるように、**小学校においても正確性につながる指導**を行うことが大切です。

(1) 子どもの発話に対して正しい英語で応答しましょう。



※ 子どもが誤りのある英語を話しても、自然な対話を続けながら正しい英語で応答し、気づきを促す指導を大切にしましょう。



※ 言語材料の使用に関して、多くの子どもが同じ間違いをしている場合は、活動の途中で全体指導を行いましょう。

(2) 単語を意識させる活動、語順への気づきを促す活動や英語の文字を「書き写す」活動を通して、「書くこと」に慣れ親しむことができるようにしましょう。

- ① 音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を書く。
- ② 単元を通じて、毎時間、少しずつ書く。

時	英文例
第1時	(I went to) the sea. ※the mountain, the river, Tokyo 等の場所
第2時	(I went to) the sea. (It was) fun.
第3時	(I went to) the park. (It was) nice. ※第1時の語句に加えて、exciting, good, great 等の形容詞
第4時	(I ate) pizza. (It was) delicious. ※seafood 等の名詞、delicious, sweet 等の形容詞
第5時	(I enjoyed) fishing. (It was) exciting. ※swimming 等のしたこと、fun 等の感想
第8時	I went to the sea. It was exciting. I enjoyed fishing. It was nice. ※前時までに空所補充の形式で書き写してきた英文を見ながら書き写し、ワークシートに清書する。

- ③ 目的意識をもって書く。
- ④ 日本語と外国語(英語)の違いに気づき、語順を意識し語と語の区切りに注意して書く。

※ 英語の語順への意識を高め、語と語の区切り等に注意して英文を書くことができるように指導しましょう。

【参考】文部科学省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック